

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(輪島市)立(河井小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(重政 裕亮)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<p>①校内研修を積み重ねることで、全ての教職員が年度始めに比べて、クロームブックを活用するための知識、技能が向上したと感じている。また、全教職員がクロームブックの活用を前向きに考え、積極的に授業で取り入れようとしている。</p> <p>②校内研修の記録を河井小GIGA通信にまとめ、定期的に発行することで、研修内容や身に付けるべきスキルを全教職員で確認することができた。(全25回)</p> <p>③研究授業の整理会をジャムボードで行ったり、Google Meetで全校児童に学校研究(身に付けたい力と称して)について説明したりする等、様々な教育活動でクロームブックを活用することができた。</p> <p>④クロームブックの持ち帰りのルールや方法について、児童・保護者・教職員と共通確認、共通実践が図れたため、持ち帰り体制が整っている。</p>	<p>①ICT支援員をより計画的・効果的に活用できる組織体制を構築する。</p> <p>②発達段階や系統性を意識した「情報モラル教育」を一層充実させていく。</p> <p>③「輪島市GIGAスキルアップマップ」と連携した計画的な取り組みを推進する。</p>

校内研修のアイデア

学校研究「心豊かに、たくましく生きる子の育成～主体性・協働性につながる豊かな読解力～」と連動させて取り組む。

- ・教科書に出てくる未知の単語の意味を調べた際、ドキュメントやジャムボード等書き溜め、語彙の拡充を図る。そのための方法やファイル管理を教職員で確認する。
- ・校内研究授業の授業整理会をジャムボードで行い、教職員のスキルの向上を図る。
- ・月1回の若プロ校内研修で、各種アプリ(コンテンツ)の使い方や昨年度の実践事例を交流し、クロームブックを活用する見通しをもてるようにする。その際、これまでICTをあまり活用して来なかった教員の参加も促し、教職員全体のスキル向上を目指す。
- ・高学年が正しくクロームブックを使っているところを動画で撮影し、校内研修で紹介したり、低・中学年に見せたりすることで使い方のイメージをもつ。
- ・週案にクロームブックを使用する時間を明記するための共通確認を行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全ての教員が効果的な場面でクロームブックを活用して授業を行うことができる姿。
- ・G suite内のアプリを効果的に活用することを通して、従来時間がかかっていた校務の手間を削減し、教材研究及び児童と関わる時間を確保している姿。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	令和3年度の取り組みの成果と課題の確認(全体研修) 今年度の目標、年間計画の確認(全体研修) 端末の整備、使い方のルール等の確認(全体研修)	推進チーム	・GIGA校内研修推進リーダー研修 [第1日]4月25日(月)
5月	校内研究授業整理会① 若プロ校内研修①	推進チーム	・くんぐんmeet ・GIGA校内研修推進リーダー研修 [第2日]5月17日(火)
6月	校内研究授業整理会② 若プロ校内研修②	推進チーム	・児童集会(委員会のお知らせ) ・くんぐんmeet
7月	実践事例交流①(1学期の振り返りと2学期に向けて) 若プロ校内研修③	推進チーム	・児童集会(委員会のお知らせ) ・くんぐんmeet
中間目標	<p>【児童】 発達段階に応じて、適宜アプリや機能を学習の中で使用し、クロームブックにさらに慣れる。 (低学年:カメラ、画像編集 中学年:低の内容に加え、キーボード打ち 高:低、中の内容に加えG suite内のアプリ)</p> <p>【教師】 児童に日常的かつ計画的にクロームブックを使わせるために最低週に2日以上は授業で活用する。</p>		
8月	若プロ校内研修④	推進チーム	
9月	校内研究授業整理会③ 若プロ校内研修⑤	推進チーム	・児童集会(委員会のお知らせ) ・くんぐんmeet ・GIGA校内研修推進リーダー研修 [第3日]9月13日(火)
10月	校内研究授業整理会④ 若プロ校内研修⑥	推進チーム	・児童集会(委員会のお知らせ) ・くんぐんmeet
11月	校内研究授業整理会⑤ 若プロ校内研修⑦	推進チーム	・児童集会(委員会のお知らせ) ・くんぐんmeet
12月	実践事例交流②(2学期の振り返りと3学期に向けて) 若プロ校内研修⑧	推進チーム	・児童集会(委員会のお知らせ) ・くんぐんmeet
中間目標	<p>【児童】 発達段階に応じて、適宜アプリや機能を学習の中で使用し、クロームブックを使いこなす。 (低学年:カメラ、画像編集 中学年:低の内容に加え、キーボード打ち 高:低、中の内容に加えG suite内のアプリ)</p> <p>【教師】 児童に日常的かつ計画的にクロームブックを使わせるために最低週に3日以上は授業で活用する。</p>		
1月	若プロ校内研修⑨	推進チーム	・児童集会(委員会のお知らせ) ・くんぐんmeet
2月	校内研究授業整理会⑥ 若プロ校内研修⑩	推進チーム	・児童集会(委員会のお知らせ) ・くんぐんmeet
3月	実践事例交流③(3学期の振り返りと次年度に向けて) 若プロ校内研修⑪	推進チーム	・児童集会(委員会のお知らせ) ・くんぐんmeet

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(輪島市)立(鳳至小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(左古 雄一郎)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・教師が日常的にICTを使うようになり、ルーティーン化した活用方法が生まれた。 ・全学年の児童がスライドやジャムボード、スプレッドシートなどを個人や共同で編集する活動を体験できた。 ・教師一人一人がICTを活用した授業実践について記録し、全体で共有することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Chromebookを使うという意識は児童の中にも日常化しているが、アプリを選択するまでには至っていない。 ・デジタル化したことを児童が学びとして実感することができていなかったり、板書との棲み分けがうまくいかず、児童が自分で振り返りを書けなかったりしている。 ・ICT機器を効果的に活用した授業のデザインの仕方についての研修をもっと行う必要がある。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に今年度の方向性及び取り組みについて職員全体で共通理解する。 ・GIGA校内研修推進リーダー研修の内容を還元する。 ・GIGAサポートやICT支援員を活用した研修を実施する。 ・研究授業においてICTを活用する場面を積極的に作る。 ・ちょこっと参観週間をGIGA活用強化週間と位置づけ、相互参観する。 ・月に1回、授業でICTを活用した場面や目的、成果と課題を記録し、蓄積していく。 ・授業で使用したデータをGIGA専用のClassroom内で整理し、継続的に利用していく。 ・定期的に若プロメンバー同士でICT活用の実際について交流するなどの日常的OJTを継続する。 ・学期末の実践報告会でICTを活用した授業について、模擬授業形式で体験する場を設ける。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>【児童】 授業の中で必要に応じてICTを活用して課題を解決し、その時間の学びを実感している。</p> <p>【教師】 教科での学びを深めるために、どの場面で、どんなICTを、どのように使うかを考えた授業づくりを行う。</p>

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	今年度の方向性及び取り組みについて[全体]	左古	4/25(月)GIGA校内研修推進リーダー研修(第1日)
5月	若プロ実践交流会[若プロ対象者]	若プロ	5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修(第2日)
6月	情報モラル研修(推進リーダー研修の還元)[全体]	左古	
7月	ICT活用実践報告会[全体]	GIGAチーム	
中間目標	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日1回以上は、授業の中でICTを使う。 ・ICTの基本的な操作を覚え、様々なアプリを使って、課題を解決することができる。 <p>【教師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日1回以上は、授業の中でICTを使う。 ・ICTを使う場面と目的を明確にして、授業を行う。 		
8月	2学期のICT活用授業検討会【各学年部】	GIGAチーム	
9月	前期の成果と課題と今後の方向性の共通理解[全体]	左古	9/13(火)GIGA校内研修推進リーダー研修(第3日)
10月	若プロ実践交流会[若プロ対象者]	若プロ	
11月	プログラミング教育について[全体]	GIGAチーム	
12月	ICT活用実践報告会[全体]	GIGAチーム	
中間目標	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日2回以上は、授業の中でICTを使う。 ・アプリを活用して課題を解決し、その時間の学びを実感している。(低学年は、分かったことやできるようになったことを自覚している。) <p>【教師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的にICTを活用した授業を行う。 ・授業での学びを深めるために、必要感のあるICTの使い方を考えた授業を行う。 		
1月	若プロ実践交流会[若プロ対象者]	若プロ	
2月	ICT活用実践報告会[全体]	GIGAチーム	
3月	今年度の振り返りと来年度に向けて[全体]	左古	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(輪島市) 立 (鶴巣小) 学校

GIGA校内研修推進リーダー (大谷 一美)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 実践交流を計画的に行い、活用の幅を広げることができた。 ICTを活用した授業を相互参観し、自己の実践の参考にすることができた。 端末操作について、個別相談を受け付けることで、不慣れな教員でも活用力を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 相互参観は、研究授業と兼ねて行うなど学校研究と合わせて計画する。 作ったデータを共有したり、使い方を分かりやすく提示したりするなど、よい実践を共有し誰でも活用できるように工夫する必要がある。 学びの質を高めるための活用の仕方について研修を深め、実践交流の方法を見直す必要がある。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> 学期に1回以上、実践報告会を行い、授業の中で端末をどのように活用したのか実践を共有する。 実践は、クラスルームや共同編集機能を用いて効率的に共有できるようにする。 端末の操作方法や授業の活用で悩みがある時は、すぐに相談ができるように、体制を整える。 SSNの動画ライブラリを活用する。 センターサポートを利用し、より実践的な活用法について学ぶ。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>〈児童の姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 全児童が、基本的な操作を理解し、情報を収集、整理する手段として、ICTを活用することができる。 全児童が、カメラ機能やファイル機能を使い情報を共有したり、コメント機能を活用したりすることができる。 高学年において、総合的な学習の時間等での学びをプレゼンテーション機能を活用して発信することができる。 近隣校の子ども達とつながり、交流したり、発信したりすることができる。 中学年の段階からローマ字入力での文章での表現ができるようにする。 <p>〈教員の姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教員が、一人一台の端末を活用した授業を行うことができる。 全教員が、共同編集機能を利用し、実践経験を共有することができる。 全教員が、他校とリモートでの交流授業を行うことができる。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・ GIGA校内研修年間計画の説明 [全体研修]	推進リーダー	4/25 GIGA校内研修推進リーダー研修①
5月	・ 研修報告 [全体研修] ・ 端末操作個別相談会 [個人研修]	推進リーダー ICT支援員	5/17 GIGA校内研修推進リーダー研修②
6月	・ 実践報告会 [全体研修] ・ 相互参観 [個人研修] ・ 端末操作個別相談会 [個人研修]	推進リーダー ICT支援員	
7月	・ 1学期のふり返し [全体研修] ・ 端末操作個別相談会 [個人研修]	推進リーダー ICT支援員	
中間目標	「児童が授業の中で、端末を活用することができる。」 ・ 児童が授業の中で、カメラ機能を使って写真・動画による記録を行い、表現に活かすことができる。 ・ 児童が授業の中で、共同編集機能を活用して、考え (作品・制作物も含む) を公開し、コメントをもらいながら考えを深めることができる。		
8月	・ 外部講師を招いての研修 [全体研修] ・ 端末操作個別相談会 [個人研修]	推進リーダー ICT支援員	
9月	・ 研修報告会 [全体研修] ・ 端末操作個別相談会 [個人研修]	推進リーダー ICT支援員	9/13 GIGA校内研修推進リーダー研修③
10月	・ 実践報告会 [全体研修] ・ GIGAスクール研究発表会視察 [個人研修] ・ 端末操作個別相談会 [個人研修]	推進リーダー ICT支援員	
11月	・ 相互参観 [個人研修] ・ 端末操作個別相談会 [個人研修]	推進リーダー ICT支援員	
12月	・ 2学期のふり返し [全体研修] ・ 端末操作個別相談会 [個人研修]	推進リーダー ICT支援員	
中間目標	「児童が授業の中で、端末を活用することができる。」 ・ 児童が授業の中で、カメラ機能やファイル機能を使い、考えを収集、整理、表現することができる。 ・ 児童が共同編集機能を活用して、考えを共有したり、課題を解決したりすることができる。 ・ プレゼンテーション機能を活用して発信することができる。		
1月	・ 相互参観 [個人研修] ・ 端末操作個別相談会 [個人研修]	推進リーダー ICT支援員	
2月	・ 実践報告会 [全体研修] ・ GIGA出前サポート研修 ・ 端末操作個別相談会 [個人研修]	推進リーダー 石川県教員総合研修センター ICT支援員	2/24 GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告書
3月	・ 1年間のふり返しと来年度に向けて [全体研修]	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(輪島市) 立 (大屋小) 学校

GIGA校内研修推進リーダー(堀井 美香)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの教職員がChromebookの各主要アプリの機能を理解し、それらを活用した授業を展開できる。 児童アンケートをFormsで行ったり、スプレッドシートを掲示板代わりに活用したりして、業務の軽減を図ることができた。 授業だけでなく、委員会活動や全校集会などでも積極的にChromebookを活用する児童が増えた。このことから、教育活動全般において、児童が情報機器を活用するスキルを身に付けているといえる。 	<ul style="list-style-type: none"> Chromebookを活用することに重点が置かれてしまい、「効果的な活用」になっていない場面もあった。 Chromebookの強みでもある「協働編集」を行う授業は、あまり実施できていなかった。 トラブルが起きた際、適切に対応できるよう、教職員の情報モラルや情報セキュリティに関する知識と意識をさらに向上させる必要がある。 タブレット端末使用のメリハリをつけることができない。 児童への情報モラル教育 (ID, パスワードの管理, 著作権, 肖像権, 情報の信ぴょう性等) の充実をはかれない。

校内研修のアイディア

- オンラインで事例を共有したり資料を配布したりする。
→教員が時間や場所にとらわれず、いつでも確認できる環境を整える。
→教員がオンラインにアクセスする機会を多く設けることで、オンラインに対する苦手意識を軽減させる。
- 気になることや小さな疑問を書き込める「掲示板」や、気軽に相談できる「オンザフライミーティング」など、和気あいあいとした雰囲気づくりと環境を整える。
- 取り組んだ成果や課題をもとに、外部講師による研修機会を設け、ワンランクアップのアドバイスを受ける。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

協働的な学びによって、児童が主体的・対話的で深い学びにつながるICT活用

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	(年度初めの登録等について) ・Classroomの作成と基本操作(ストリーム, 課題, 採点等)[ミニ研修・資料配布]	堀井	1学期始業式
5月	・「情報社会に主体的に参画する態度を育む指導」(独立行政法人教職員支援機構「校内研修シリーズNo82」)を視聴し, 具体的な指導方法を確認する。[若プロ①]	堀井	運動会
6月	・GIGA2年目(活用期)における授業の在り方について(協働的な学びと個別最適な学び)[ミニ研修]	堀井	学校公開①
7月	・スクールライブラリより, ICT端末活用期の活用事例を視聴しよう[ミニ研修]	堀井	1学期終業式
中間目標	情報端末機器の活用の幅を広げ, 授業における具体的な活用場面のイメージを持つ。		
8月	・著作権や肖像権, 情報セキュリティに関する知識と意識を高めよう。[若プロ②]	堀井	夏季休業
9月	・「ネット利用診断サービス」を活用し, クラスのネット利用の実態を把握しよう。[ミニ研修]	堀井	2学期始業式
10月	・協働的な学びを盛り込んだ授業を展開してみよう。[実践] ・協働的な学びを盛り込んだ授業を展開してみて, 良かった点や悪かった点を教員用Classroomに投稿し, 共有しよう。[ふりかえり]	堀井	宿泊体験学習 遠足 マラソン大会
11月	・協働的な学びを盛り込んだ授業を展開してみよう。[実践] ・協働的な学びを盛り込んだ授業を展開してみて, 良かった点や悪かった点を教員用Classroomに投稿し, 共有しよう。[ふりかえり]	堀井	学校公開②
12月	・協働的な学びを盛り込んだ授業を展開してみよう。[実践] ・協働的な学びを盛り込んだ授業を展開してみて, 良かった点や悪かった点を教員用Classroomに投稿し, 共有しよう。[ふりかえり]	堀井	2学期終業式
中間目標	協働的な学びを授業の中で取り組み, その成果と課題を見いだす。		
1月	授業研究, 外部講師による研修[全体研修]	堀井	3学期始業式
2月	授業の中で取り組んだ協働編集の成果と課題を集計し, 共有する。[若プロ③]	堀井	6年生を送る会
3月	まとめ	堀井	卒業式

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(輪島市) 立 (河原田小) 学校

GIGA校内研修推進リーダー(田中 丈以)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・月2回のICT支援員の来校で、ChromebookはもちろんPCについて些細なことでも丁寧に教えていただくことができた。また、授業のサポートに入っていたり、スライド作成時のアニメーション効果や動画へのリンク、classroomへの貼り付けなどを教わり、スムーズに操作することができた。 ・ミニ研修に限らず、放課後などでも気軽にChromebookを活用した事例を職員で共有できた。 ・オンライン授業に向けて、ビデオカメラとChromebookの接続やmeet会議の接続方法など、分からないことはみんなで協力して解決することができた。 ・5月にclassroomをつくり、意見を共有することで、普段手を挙げない子の意見も知ることができた。 ・Jambordを用いると、全員の意見が視覚的によく分かり、多くの教科で使うことができた。 ・分からないことは児童同士で教え合いながら使い方をマスターできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は使ってみることを目標とした。来年度はより効果的な使い方を模索していきたい。 ・他の児童のパスワードを勝手に用いChromebookにログインし、youtubeの動画を見たり、設定を変えられたりした件があった。PCのネットマナーについて、児童だけでなく保護者にも注意喚起をしていきたい。

校内研修のアイディア
<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルについて(していいことと駄目なこと 児童への指導の仕方) ・基本的なGoogle for education の活用方法(使用頻度の高い物から) ※今年度初めて使う教員が多数いるため ・活用場面や活用方法の共有 ・若プロとの相互研修

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>ICTを有効活用し自分の力を最大限に発揮できる児童</p> <p>快適な学びの環境を整える授業づくりの力</p>

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	chromebookにログインする方法を確認。Googleの主要アプリの使い方について。[若プロOJT]	推進リーダー	若プロ
5月	ICT機器の効果的な活用、情報モラルについて。[職員会議後]	推進リーダー	推進リーダー研修
6月	キュビナの活用・使い方[職員会議後]	推進リーダー	
7月	Classroomの使用例および、meetの使い方について。[職員会議後]	推進リーダー	
中間目標	授業や家庭学習で使用する機能について、大まかな操作ができるようになる。		
8月	フォームでのアンケート作成、プログラミングについて。[校内研修]	推進リーダー	
9月	Jambordの活用。[若プロ]	推進リーダー	若プロ
10月	ICT機器の選択について(児童ノート提示を例に)[職員会議後]	推進リーダー	
11月	校務支援システムの活用。[若プロ]	推進リーダー	若プロ
12月	実践を交流する。[職員会議後]	推進リーダー	
中間目標	ICTをより効果的に使用できるよう、選択して使用できるようになる。		
1月	研究推進校の取り組みについて還流。[校内研修]	推進リーダー	
2月	校務支援システムの活用。[校内研修]	推進リーダー	
3月	実践を交流する。[職員会議後]	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(輪島市) 立 (三井小) 学校

GIGA校内研修推進リーダー(長井 真吾)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化も視野に入れて、児童アンケートや家庭学習時間の表計算をクロムブックを用いたところ、フォームやクラスルームの活用へとつながり教師のアプリの習得につながった。 ・少人数の学校同士でMeetを使って交流することで、有意義な実践となった。 ・授業実践を交流することで多様な使い方のアイデアが生まれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ、共通実践としての使い方になっていないので、誰もが活用できるように年間計画に位置付けて実践を続ける必要がある。(スライドでの発表、高学年はスプレットシート、フォーム) ・日常的に使っているとは十分に言えないので、児童らが必要に応じて使えるようになるよう実践を重ねていきたい。

校内研修のアイデア

- ・授業実践の動画を視聴する時間を計画的に設ける。
- ・学期に1回程度、ICTを活用した授業実践の報告会を行う。
- ・夏期休業中の効果的な活用例の情報収集を行う。
- ・授業実践を記録として残し、いつでも誰でも参考できるようにする。
- ・ICT支援員から、オンライン授業の接続やアプリの機能、情報モラルについて学ぶ機会をもつ。
- ・センターの指導員を招聘し、複式授業での効果的なICTの使い方を学ぶ研修をもつ。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・児童が日常的にクロムブックを授業の中で使うことができる。
- ・クロムブックを使って自分の意見を発信し、交流し、深め合う学びができる。
- ・クロムブックを使った校務の効率化を実現する。

月	を	担当	関連する行事等
4月	クラスルームを作ろう。 自分のcクラスルームと職員のクラスルームつくろう。	長井 米田	
5月	調べたことなどをドキュメントにまとめよう。総合などで調べたことをドキュメントにまとめる。図や動画の貼り付けも練習する。 GIGA出前サポート研修(算数科)授業で効果的な活用を学ぶ。	担任	指導主事訪問
6月	ミーティングで交流しよう。 本校だけでなく、他校との交流を行う。	担任	学校公開
7月	授業で行った活用方法を交流しよう。 各自の授業実践を交流する。	全員	
中間 目標	スライドを用い、自分の考えを発表する。ミーティングで他学年や他校と交流する。		
8月	いろいろな活用情報を収集しよう。 動画コンテンツ、他校の実践について情報交換をする。	全員	
9月	ジャムボードで互いの考えを知り、深め会おう。 道徳、国語など教科でジャムボードを使い、意見を整理し、深め合う。	長井 米田	運動会
10月	フォームでアンケートをしよう。 フォームでアンケートや簡単なテストを作成して返却する。	長井 米田	宿泊体験学習 社会科見学
11月	スプレットシートの使い方を学ぶ。	長井 米田	学校公開
12月	二学期の実践を振り返ろう。 各自の授業実践を交流する。	全員	
中間 目標	フォーム、ジャムボード、スプレットシートを使い、効果的な使い方を知る。		
1月	チャットでビデオ会議をしてみよう。 ビデオ会議を体験する。		授業参観
2月	今年度の実践を振り返ろう。 来年度の使えるような活用例を整理する。	全員	
3月	来年度に向けて、クラスルームの入れ替えをしよう。 児童のクラスルームの入れ替えとファイルの整理をする。	全員	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(輪島市)立(町野小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(新谷 俊亮)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	○年間指導計画についての説明[全体] ○動画視聴による研修(ステージ1・2)[個人]	推進リーダー 個人	GIGA校内研修推進リーダー 研修(第1日)
5月	○動画視聴による研修(ステージ3)[個人] ○校内研修推進リーダー内容還元[全体] ○実践報告・授業場面演習・互観日設定[全体]	個人 推進リーダー 中学年部	GIGA校内研修推進リーダー 研修(第2日)
6月	○動画視聴による研修(文科公式動画:国語科)[全体] (ICT活用指導力強化事業モデル校授業動画)[全体] ○実践報告・授業場面演習・互観日設定[全体]	全員 低学年部	新たな授業づくり研修受講報告 …アンケート:4/15~6/6
7月	○動画視聴による研修(文科公式動画:算数科)[全体] (ICT活用指導力強化事業モデル校授業動画)[全体] ○実践報告・授業場面演習・互観日設定[全体]	全員 特別支援部	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員がアプリケーションの操作方法について児童に指導を行い、児童は今年度知識及び技能においてめざす姿の到達目標を理解する。 ・児童につけたい力を明確にして、ICT活用の場面について取捨選択を教師が行い、若手教員を含めた全教員が授業構想力を高める。(年間継続) ・全職員でデジタルシチズンシップ教育についての理解を深める。 		
8月	○動画視聴による研修(文科公式動画:社会科)[全体] (ICT活用指導力強化事業モデル校授業動画)[全体] ○外部講師による校内研修[全体]	全員 全員	
9月	○動画視聴による研修(文科公式動画:理科)[全体] (ICT活用指導力強化事業モデル校授業動画)[全体] ○実践報告・授業場面演習・互観日設定[全体]	全員 高学年部	GIGA校内研修推進リーダー 研修(第3日)
10月	○動画視聴による研修(文科公式動画:音楽、図工)[全体] (ICT活用指導力強化事業モデル校授業動画)[全体] ○実践報告・授業場面演習・互観日設定[全体]	全員 特別支援部	
11月	○動画視聴による研修(文科公式動画:体育科)[全体] (ICT活用指導力強化事業モデル校授業動画)[全体] ○実践報告・授業場面演習・互観日設定[全体]	全員 低学年部	
12月	○動画視聴による研修(文科公式動画:道徳)[全体] (ICT活用指導力強化事業モデル校授業動画)[全体] ○実践報告・協議(授業構想とICT活用)[全体]	全員 全員	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期に教員と児童で共有した到達目標についてお互いの視線から評価を行い、課題を明確にすることで、不足については三学期に重点的に指導を行えるようにする。 ・児童につけたい力を明確にして、ICT活用の場面について取捨選択を教師が行い、若手教員を含めた全教員が授業構想力を高める。(年間継続) ・デジタルシチズンシップ教育についての指導実践を共有し、校内の指導計画を確立する。 		
1月	○動画視聴による研修(文科公式動画:家庭科)[全体] (ICT活用指導力強化事業モデル校授業動画)[全体] ○実践報告・協議(授業構想とICT活用)[全体]	全員 全員	
2月	○動画視聴による研修(文科公式動画:生活科)[全体] (ICT活用指導力強化事業モデル校授業動画)[全体] ○GIGA校内研修 成果・課題の協議、共通理解[全体]	全員 全員	GIGA校内研修 実践報告締 切
3月	○動画視聴による研修(文科公式動画:特別活動)[全体] (ICT活用指導力強化事業モデル校授業動画)[全体] ○次年度GIGA校内研修における共通理解・準備[全体]	全員 全員	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<p>【職員の指導力向上について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期に端末やアプリケーションの操作についての研修を重ねたことで、一人一台端末を活用した授業に早い段階からの職員も取り組もうとしていた。 <p>【指導の活用能力向上について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に設定した令和3年度末にめざすICTを活用した学びの姿に知識及び技能の面では到達した。 	<p>【職員の指導力向上について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末をどの場面で、どのアプリケーションで、どの学習形態で使わせて行くかの授業構想の部分に課題がみられる。 <p>【児童の活用能力向上について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目的に応じてどのアプリケーションを使っていくか取捨選択する力がまだ弱い。

校内研修のアイデア

【教員の指導力向上に向けて】

- ・5月から輪番制にして、実践報告・授業場面演習・互観日設定を行う。授業前に使用するICTベースの教材を教員相手に演習することで、ねらい達成に有効な活用なのかを協議するとともに、若手教員の授業構想力向上をねらう。
- ・校内だけの実践交流で、視野が狭くならないようにスマートスクール上にアップロードされているオンライン研修の動画ライブラリを最大限活用し、GIGAスクール構想実現の姿を職員一人一人が明確に持てるようにする。

【児童の活用能力向上に向けて】

- ・昨年度に作成した端末操作やアプリケーション操作についての掲示物を生かし、日常的な使用を心がける。
- ・児童がデジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力の育成を目的として、デジタルシチズンシップ教育を推進する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【知識及び技能】

- ・全児童が学習の成果物や実験の様子などを写真や動画で撮影する方法を理解し、自分で撮影した写真を保存したり、呼び出したりすることができる。
- ・中学年以上の児童がキーボードなどによる文字の正しい入力方法を理解し、簡単な文章で自分の考えを表現することができる。
- ・高学年以上の児童がGoogle Jam boardやGoogleスライドなどのアプリケーションを使用して、クラウド上で問題に対して協働的に学習したり、学習の成果をまとめたりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・全児童が自分の考えを表現する際に必要な写真や図、資料などを収集し、自分なりの表現でまとめることができる。また、自分なりの表現の仕方をアプリケーションの特性に応じて取捨選択することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・全児童が自分の情報や他人の情報の大切さについて理解し、責任を持って適切に情報を扱おうとする。

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(輪島市)立(門前東)学校

GIGA校内研修推進リーダー(田中 健太)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ICTの活用予定とその成果を週案に記載することで、日頃からICT活用を意識できている。
- 児童も職員も、ICT活用に意欲的である。

課題

- 今年度、昨年度より職員数が減少し、一人一人の業務負担が増加したことにより、全職員参加型の研修会を定期的に行うことが難しい状況である。
- 職員から疑問があってもすぐに聞けなかったり、授業中に児童に質問されても答えられなかったりする時がある。

校内研修のアイデア

- 学期ごとに、「ICTに関わる教職員・児童アンケート」をとり、その結果をもとに課題を洗い出し、それに対応した校内研修を実施する。
- 毎月1回GIGA校内研修を行い、ICTを活用した授業実践についての報告や演習を行う。
- 授業におけるICT活用で得た情報をクラスルーム等で共有し、それぞれの実践に繋げる。
- オンライン授業に対応できるように、当該アプリや機器の接続の操作習熟を図る。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 全ての学級で、毎日、学習や活動の場面で、児童がICTを活用する機会を作っている。
- 全教職員がICTの操作に習熟し、授業だけでなく、職員間での意見集約、調整等にも活用している。
- 研究授業でも、ICTを効果的に活用している。
- 授業中の調べ学習等の場面において、児童自らがICT活用を選択し、学習・授業理解に繋げている。また、アンケート作成・分析や考えの共有化の操作も行っている。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	<ul style="list-style-type: none"> 市ICT支援員とのGIGA校内研修打ち合わせ GIGA校内研修(Chromebookの基本操作研修) 	推進委員会	第1回GIGA校内研修推進リーダー研修4月25日
5月	<ul style="list-style-type: none"> GIGA校内研修(実践例の紹介) ICTに関わる教職員・児童アンケート 市ICT支援員による校内研修(授業支援, 技術指導) 	推進委員会	第2回GIGA校内研修推進リーダー研修5月17日
6月	<ul style="list-style-type: none"> GIGA校内研修(情報モラル) 教職員・児童アンケートを基にした研修 市ICT支援員による校内研修(授業支援, 技術指導) 	推進委員会	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の成果と課題の共有 市ICT支援員による校内研修(授業支援, 技術指導) 教職員・児童アンケートを基にした研修 	推進委員会 +各学担	
中間目標	「使ってみる・慣れる」 ・児童教師ともに1日1回は端末を使用する。 ・「カメラ」「検索サイト」「文書作成」「アンケート機能」「スライド」「付箋貼り付け」のうち、1つ以上のアプリケーションを日常的に活用している。		
8月	<ul style="list-style-type: none"> GIGA校内研修(1学期のまとめと2学期の取組確認) 第2回GIGA校内研修推進リーダー研修の資料作成 ICTに関わる教職員・児童アンケート 市ICT支援員による校内研修(授業支援, 技術指導) 推進校の授業研究会へ参加 		第3回GIGA校内研修推進リーダー研修9月
9月			
10月	<ul style="list-style-type: none"> GIGA校内研修(第2回校内推進リーダー研修の選定) 教職員・児童アンケートを基にした研修 市ICT支援員による校内研修(授業支援, 技術指導) 	推進委員会	
11月	<ul style="list-style-type: none"> GIGA校内研修(実践例の紹介) 教職員・児童アンケートを基にした研修 市ICT支援員による校内研修(授業支援, 技術指導) 	推進委員会	
12月	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の成果と課題の共有 教職員・児童アンケートを基にした研修 市ICT支援員による校内研修(授業支援, 技術指導) 	推進委員会 +各学担	
中間目標	「授業で活用する」 ・児童教師ともに、1日2回は端末を使用する。 ・「カメラ」「付箋貼り付け」「検索サイト」「文書作成」「プレゼン」「アンケート機能」のうち、2つ以上のアプリケーションを日常的に活用している。 ・研究授業でも、ICTを効果的に活用している。		
1月	<ul style="list-style-type: none"> GIGA校内研修(2学期のまとめと3学期の取組確認) 授業ワークシート, 実践例の紹介 教職員・児童に対するアンケート 市ICT支援員による校内研修(授業支援, 技術指導) 	推進委員会	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した学習発表会 GIGA校内研修推進リーダー研修の実践報告作成 教職員・児童アンケートを基にした研修 市ICT支援員による校内研修(授業支援, 技術指導) GIGA校内研修(1年間のまとめと次年度に向けて) 	推進委員会	GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告締切2月24日
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(輪島市)立(門前西小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(坂田 篤子)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 校内研究授業では、全教職員がChromebookを使用し、子ども達の一人一人のスキルも向上していた。 日々のmini研修やICTサポーターによる授業サポートがとくに効果があり、日々の取り組みはもちろん、それを共有する場を設けることができていた。 教職員や児童のアンケートでフォームを使い素早く集計し、結果も共有するなど校務の効率化もできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート指導といかに関連させていくかが今後の大きな課題。学習してきたことをどのように残していくか学年に応じて取り組みを考えていきたい。 子ども達の情報活用スキルを高めるには、教師のスキル向上もかかせない。校務分掌についても積極的にICT活用を進め、日々ICTに触れ便利さを実感できる機会を作っていくようにしていく。

校内研修のアイデア

合い言葉『自分の言葉で』

- 学校研究推進委員会とGIGA校内研修推進委員会を併設し、学校研究と連動した研修を計画する。
- 児童発表を通して、高学年児童が低・中学年児童にお手本を示しながら児童同士でスキルアップできるようにしていく。
- 児童にさせてうまくいった事例を、全職員で追体験することで共有する。
- 若プロを兼ねた短時間(5分~10分間程度)のmini研修を積み重ねる。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 全教員と全児童が、chrome bookを毎日さわっている。
- 全教員が、授業でICT支援員をどのように活用すれば効果的かを考え、指導計画を立て、実施することができるようにする。
- 全教員が、GIGA校内研修を通して身に付けたスキルを授業や活動の場で発揮する。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	①新たな授業づくり研修について[全体] ※若プロ兼ねる ・ステージ1・2動画視聴[R3未受講者] ・ステージ3動画視聴[R3未受講者][任意]	推進委員会	4/25 第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	・GIGA校内研修スタートブック2022と年間計画共有[全体] ②情報モラル研修[全体]	坂田	5/17 第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 ※年間計画持参
6月	③研究授業[全体] ※若プロ兼ねる ・授業のどの場面でどのようにICTを活用するか検討、実施	森山花	
7月	④ふり返り[全体] ※若プロ兼ねる ・アンケート(学校評価)から、これまでの成果と課題を共有する	推進委員会	児童総会(代表委員会) 「夏休みのきまりとジガリンピック」
中間目標	中間目標『自分で』 【児童】・1日1回以上、端末を利用する。 ・「検索サイト」「カメラ」「設問回答」「付箋貼り付け」「文書作成」「プレゼン」「表計算」を2つ以上使った経験がある。	【教師】・1日1回以上、端末を利用する。 ・どのアプリケーションをどのように使うか考え、授業で活用する。	
8月	⑤西小GIGA Brush up研修[全体] ※若プロ兼ねる ・1学期の実践例紹介と2学期の取組確認、年間計画の改善と共有 ・ステージ3おすすめ動画視聴会[任意] 発表資料作成	担任 坂田	9/13 第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 ※発表資料持参
9月			
10月	⑥研究授業[全体] ※若プロ兼ねる ・授業のどの場面でどのようにICTを活用するか模擬授業で検討 ・授業ワークシートやノートとの兼ね合いを検討	滝川 森	児童集会(3・4年生) 「北前船と角海家」 児童集会(2年生) 「みんなで楽しく」
11月			
12月	⑦ふり返り[全体] ※若プロ兼ねる ・ふり返りアンケートから、これまでの成果と課題について共有する。	推進委員会	児童総会(代表委員会) 「冬休みのきまりとジガリンピック」
中間目標	中間目標『自分の言葉で』 【児童】・自分で選んで「検索サイト」「カメラ」「設問回答」「付箋貼り付け」「文書作成」「プレゼン」「表計算」を2つ以上使って表現する。	【教師】・「アンケート機能」を授業で必要に応じて活用できるようにする。	
1月	⑧研究授業[全体] ※若プロ兼ねる ・授業のICT活用場面について模擬授業で検討 ・授業ワークシートやノートとの兼ね合いを検討	坂田	児童集会(1年生) 「こんなに大きくなったよ」 6年生を送る会(全校)
2月	⑨学習発表会[全体] ・ICTを活用した発表 ⑩1年間のふり返りと次年度に向けて[全体] 2/10 ・ふり返りアンケートから、ここまでの成果と課題について共有する。 ・実践例のまとめ 実践報告書作成	推進委員会 担任 坂田	「みんなありがとう」 プレゼン、動画編集 2/24 GIGA校内研修実践報告書締切
3月			